



「どげんする町の活性化！」
人口減少から、町づくりを考える
前編

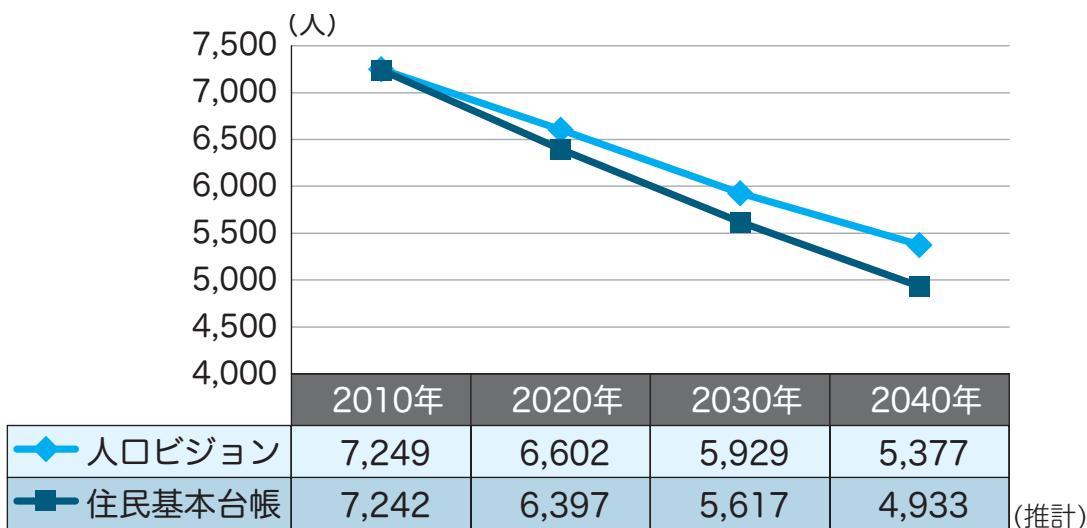
自治体消滅77%危機感
人口減対策財源拡充迫る

日本創生会議が「自治体消滅論」を発表。全国の市町村のうち、約半数が消滅の可能性があると内容に日本中が衝撃を受けました。

過去100年で増え続けた日本の人口は2008年でピークに達し、今後100年かけて、100年前の人口水準まで減少すると言われています。

新十津川町の人口ピークは昭和30年。そこから65年間減少し続け、2019年末の人口6,532人(町統計資料)は、明治35年頃の人口に匹敵します。今後更に進む人口減少による影響と町として何が必要か、2編にわたり特集いたします。

人口動向と推移



人口減少の状況は、総合戦略策定時の「人口ビジョン」より、住民基本台帳の人口推計の方が減少が進んでいることが分かります。